

学ぶ環境は  
道内5か所  
+  
オンライン

広大な北海道各地での学びをサポートするために、授業は札幌、旭川、釧路、函館の4か所のキャンパスと札幌駅前サテライトを結び、学びの環境を整えています。個別指導や院生の交流には、オンラインも活用します。

### キャンパス



■札幌校  
〒002-8502  
北海道札幌市北区あいの里  
5条3丁目1番5号  
TEL.011-778-0206



■旭川校  
〒070-8621  
北海道旭川市北門町9丁目  
TEL.0166-59-1204



■釧路校  
〒085-8580  
北海道釧路市城山1丁目15番55号  
TEL.0154-44-3205



■函館校  
〒040-8567  
北海道函館市八幡町1番2号  
TEL.0138-44-4411



各キャンパスへのアクセスはこちら

### 札幌駅前サテライト

<https://www.hokkyodai.ac.jp/satellite/>



〒060-0005  
北海道札幌市中央区  
北5条西5丁目7  
sapporo55 4階  
TEL.011-211-4100



### 入試に関するお問い合わせ

【入試課】TEL.011-778-0652

### 授業に関するお問い合わせ

【教育企画課修学支援グループ】TEL.011-778-0328

### 令和5年度入学者選抜試験日程

#### 【前期募集】

- ・出願期間 令和4年10月17日(月)～10月21日(金) ※消印有効
- ・学力検査日 令和4年11月20日(日)

#### 【後期募集】

- ・出願期間 令和5年1月4日(水)～1月10日(火) ※消印有効
- ・学力検査日 令和5年1月29日(日)

### 諸費用

- 入学金 282,000円(予定)

※現職教員全員を対象とした入学金の半額免除を実施します。本制度の対象となる「現職教員」は選抜区分の「現職教員」と異なります。詳細は、合格者宛てに別途通知します。

- 授業料 535,800円(年額、予定)

※減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は合格者宛てに別途通知します。

### 入試説明会日程

- ・9月3日(土) 旭川キャンパス 要申込
- ・9月17日(土) 札幌キャンパス 要申込
- ・9月25日(日) 釧路キャンパス
- ・11月5日(土) 旭川キャンパス 要申込
- ・12月3日(土) 札幌キャンパス 要申込
- ・12月4日(日) 釧路キャンパス
- ・12月11日(日) 函館キャンパス 要申込

入試の個別相談を随時受け付けています(対面、オンライン、電話)。  
お申し込みはメールをお願いします。

[kyosyokudaigakuin@s.hokkyodai.ac.jp](mailto:kyosyokudaigakuin@s.hokkyodai.ac.jp)



入試についての詳細・最新情報は  
教職大学院ホームページでご確認  
ください。

<https://www.hokkyodai.ac.jp/kyosyokudaigakuin/>



自分の学びが、子どもたちの未来を創る

令和5年度  
(2023年度)  
4月入学者用

北海道教育大学大学院 教育学研究科  
高度教職実践専攻(教職大学院) 入学案内



自信を持って、この場所に立つために。

現代社会の急速な変化に合わせて、教育現場も常に変わり続けています。

予測が困難なこの時代で、多様な課題に向き合うための力を身に付けるための場所、それが「教職大学院」です。学んだ理論を土台にして自分を支え、実践の中でその理論を組み立て直し、次の実践につなげることは、きっとあなたの自信になります。

自分と教育の未来を切り開いていくために。教職大学院で、前に進む力を手に入れてください。

教職大学院で身に付けたい **5** つの力



修了要件

- 修了要件: 2年以上在学し、履修基準に示す所定科目を46単位以上修得すること。
- 標準修業年限: 2年間 現職教員(北海道教育委員会及び札幌市教育委員会派遣者)向けの短期履修学生制度(1年)、長期履修学生制度(3年または4年)有り。
- 学位: 所定の単位を修得した者に教職修士(専門職)の学位が授与されます。

取得できる免許状

一定の科目履修により、教育職員免許状1種に対応する以下の専修免許状の取得が可能です。

- 小学校教諭専修免許状
- 中学校教諭専修免許状(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、外国語(英語))
- 高等学校教諭専修免許状(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、情報、農業、工業、外国語(英語))
- 幼稚園教諭専修免許状
- 特別支援学校専修免許状(知・肢・病)
- 養護教諭専修免許状

# 教職大学院、6つの特長

※「学部直進者等」とは、「学生募集要項」で定める「現職教員」以外の者で、教員免許状を有する者または取得見込みの者で職に就いていない者をいいます。

- ### 1 理論と実践の往還

現職教員は、理論を学ぶことで自分の実践を裏付けつつ、新たな方法を見出して改善していくことができます。学部直進者等\*は、理論から多様な視点と広い見識を得ることで実践に生かし、自分なりの理論を組み立てていく土台を身に付けることができます。
- ### 2 複数教員による指導体制

1つの授業を各キャンパスの教員が連携して効果的に指導する「協働授業体制」と、1人の院生を異なる専門分野の教員が複数で指導する「協働教育指導体制」により、広さと深さを両立した学びを進めていきます。
- ### 3 双方向遠隔授業

各キャンパス間と札幌駅前サテライトを結び、双方向遠隔授業を実施。最新のICT機器を駆使して参加体験型授業や問題解決型授業を推進しています。また、オンラインによる講義にも対応しています。
- ### 4 院生それぞれの研究テーマをきめ細かくサポート

一人ひとりの院生が持つテーマに合わせて指導教員がきめ細かな指導を行い、研究を推進。定期的に関連領域（「発達」「マネジメント」「教科」）の教員や他の院生との合同カンファレンスを行い、広い視点での研究を進めていくことができます。
- ### 5 様々な背景を持つ院生との交流

様々な経験を持つ院生と共に学び合うことで、学校教育だけではない多面的な視野を広げることができます。教職大学院で培った多様な知見は、実践に即した研究を進める上で有意義なものとなるでしょう。
- ### 6 フォーター（年間4期）制

1年を4期に分け、各授業科目を1フォーター（約2カ月）で実施します。これにより、幅広いテーマの共通科目や専門的な授業科目を数多く履修できるようにしています。

## 教職大学院についての Q & A

**Q** そもそも教職大学院とはどのようなもので、今までの大学院との違いは何ですか？

教職大学院とは、高度な専門的職業能力を備えた人材を育成する専門職大学院の教員版です。今までの教育大学の大学院では不十分であった、学校現場での実践力・応用力など教職としての高度な専門性の育成を目指します。

**Q** 将来の管理職を育てることがねらいですか？

管理職として必要とされる職制能力を備えた人材の育成はもちろんですが、それ以上に、教員の個性や経験、おかれている環境などを考慮しながら、学校が組織として機能するために必要な資質や能力を備えた人材の育成を目指します。

**Q** 教員を続けながら通えますか？

授業は基本的に夜間及び土曜日開講なので、勤務しながら履修できます。また、現職教員を大学院に派遣する大学院研修派遣制度や、無給ですが、3年を限度に休業（休職）して修学に専念できる大学院修学休業制度というものもあります。詳しくは、教育委員会にお問い合わせください。

このほかにもWebサイトでは、様々な質問にお答えしています。ぜひ一度ご確認ください。



# 目指すステージに踏み出すための、6つのコースと科目群

自分の目的に合ったコースを6つの中から選択し、「共通科目」及び「専門科目」を基盤としながら「実習科目」を行うことで理論知を実践化していきます。

さらに、地域課題へ取り組む「北海道教育大学の特色ある領域科目」では、地域課題を顕在化して解決に向けた力を育んでいくとともに、「プロジェクト科目」を中心に実践的研究を行うことで、専門科目で得た理論知と実習で得た実践知を融合させていきます。

## 「教員養成学」による実践研究アプローチ



## コースのねらい

- ### 学校組織マネジメントコース

●現職教員

学校管理職や地域の指導的立場として活躍する経営的資質能力の向上  
国や北海道の教育改革の方向性を理解し、社会の変化、保護者・地域等の期待を踏まえて、目指す学校の姿を経営方針やグランドデザインとして示すとともに、達成するための方策や評価・改善の仕組みを具体化して、教職員や地域等との協働による学校・園の経営を行うことができる人材を育成します。
- ### 教職キャリア形成・研修デザインコース

●現職教員

教育実践研究に中心的に取り組むことができるミドルリーダーの資質能力の向上  
校長等の経営方針の下、学校のねらいを達成するため、教職員や保護者、地域等と協働して実践するほか、必要に応じて自ら課題解決のための企画を提案し、ミドルリーダーとして職場の協働体制の充実・推進を果たすことができる人材を育成します。
- ### 子ども理解・学級経営コース

●現職教員  
●学部直進者等

教育活動の基盤となる子どもの理解や集団・学級の運営に関する資質能力の向上  
学校における子どもを理解し、その成長・発達に寄り添うとともに、教職員、保護者や地域等と協働して、子どものニーズに応じた支援を行いながら、学級を単位として展開される様々な教育活動を推進することができる人材を育成します。
- ### 教科指導・授業開発コース

●現職教員  
●学部直進者等

各教科の専門的指導と教材を開発するための実践力に関する資質能力の向上  
各教科の専門性を獲得するとともに、子どもの学力・関心等の実態を把握し、教職員、保護者や地域等と協働して、子どもの学びが深められるような実践的指導力を高め、各教科の教材を開発し、授業実践に活かすことができる人材を育成します。
- ### 特別支援教育コース

●現職教員  
●学部直進者等

配慮を必要とする多様な子どもに対する専門的な支援に関する資質能力の向上  
障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援し、教職員、保護者や地域等と協働して、子どもの生活や学習上の困難を改善・克服する専門家として、特別支援学校や特別支援学級の教育に貢献することができる人材を育成します。
- ### 養護教育コース

●現職教員  
●学部直進者等

子どもの健康を支える保健・健康教育活動等の実践力に関する資質能力の向上  
養護教諭として、保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動に関する専門的実践力を深め、教職員、保護者や地域等と協働して、子どもの心身の健康問題に対応する専門家として、学校教育に貢献することができる人材を育成します。



松田 和也さん

【令和2年度3月 修了】  
釧路市立鶴野小学校

現職教員

教職経験20年を超え、これまでを振り返って学び直したいと思ったことがきっかけでした。学部時代とは違い、失敗も含めて様々な経験を積んでいるため理論にも納得できることが多く、学ぶほどに「もっと学びたい」気持ちが高まりました。特に、学校・学級経営分野で学んだことは、学校全体を動かす役割を与えられた時や若い先生の相談に乗る時に生きています。大学の先生方や現職教員の仲間、学部直進者の方などとの対話を通して、これまで経験や勘でこなしてきたことが理論的につながっていくことは大きな学びです。ここで出会った方々とは、間違いなく「一生のお付き合い」になると思います。ぜひ、教職大学院でかけがえのない、一生の宝になる経験をしてみてください。

大学院1年次の生活スタイル

週2・3回は特別連携協力校で勤務を行い、18時から講義を受け、それ以外の日には大学院の院生室や図書館でレポートの作成や文献研究を行っていました。土曜日は午前10時40分から17時50分まで講義を受けていました。

※スケジュールはあくまで一例です

	月	火	水	木	金	土
1		●	●	●	●	
2		●	●	●	●	●
3		●	●	●	●	●
4		●	●	●	●	●
5		●	●	●	●	●
6		●	●	●	●	●
7		●	●	●	●	●

- 特別連携協力校での勤務
- 実習事前・事後指導(年数回)
- 共通科目
- 大学院での文献研究等
- 選択科目(分野により履修)

学部直進者等

柳澤 知優さん

【平成27年度3月 修了】  
北海道教育大学附属釧路  
義務教育学校後期課程

時間講師として学校現場の仕事を直に学べることが進学を決め手になりました。入学して感じた学部時代との大きな違いは、学んだ理論を現場ですぐに実感できることです。教員免許を持った状態で実習させていただけるので授業実践回数も多く、教授や現職の先生方にアドバイスをいただきながら子どもたちと関ることができました。特に、生徒理解の学びは今の教員生活に生きています。理論的な学びに加えて、事例検討を通して一人の子どもといかに向き合っていくかを学べたことは貴重な経験となりました。学部卒業後すぐに現場へ出ることによる不安を感じていたり、児童・生徒の理解を深めてから学校現場に出たいと考えている人には、ぜひ教職大学院をおすすめします。

大学院1年次の生活スタイル

8時から17時ごろまでは実習や附属学校での勤務をしていました。講義がある日はそのまま大学へ行き、講義まで採用試験の勉強等を行っていました。土曜日は1日講義があったので、大学で過ごすことが多かったです。

※スケジュールはあくまで一例です

	月	火	水	木	金	土
1	●	●	●	●	●	
2	●	●	●	●	●	●
3	●	●	●	●	●	●
4	●	●	●	●	●	●
5	●	●	●	●	●	●
6	●	●	●	●	●	●
7	●	●	●	●	●	●

- 実習など
- 実習指導
- 共通科目
- 採用試験の勉強・対策
- 時間講師として勤務



現職教員へのサポート

● 平日夜間・土曜日の授業

現職教員が働きながら大学院へ通うことができるよう、多くの講義は平日の夜間(18:00~21:10)と土曜日の日中(9:00~17:50)に開講しています。

● 短期履修学生制度

北海道教育委員会及び札幌市教育委員会大学院研修派遣制度により派遣される現職教員は、この制度を申請して認められれば、通常2年間の教育課程を1年間に短縮して履修・修了することができます。

※入学後に1年間での修了が困難になった場合、修学年限を2年間に変更することも可能です

● 長期履修学生制度

職務の都合などの理由で2年間での履修が困難な場合、2年間分の学費のまま履修期間を最大4年間まで延長できます。

● 大学院修学休業制度

教員としての身分を保障された上で、最大3年間まで休業(休職)して修学に専念することができる制度です。

※詳細は各教育委員会にお問い合わせください

松田さん

北海道教育委員会派遣で履修させていただきました。勤務校を離れて大学院中心の生活を行えたことで、じっくり学ぶ機会を得ることができ、学校現場を俯瞰して見るよい機会になりました。

学部直進者等へのサポート

● 合格率9割を実現する、教員採用試験対策

学部直進者等向けの教員採用試験対策は少人数制のきめ細かい指導で、本番さながらの面接練習も。修了までに教員採用試験に合格する割合はおよそ9割以上です。

● 教員免許状取得特別プログラム

3年間で教職大学院の単位を修得することに加え、学部の教職課程を履修することで、小学校または中学校1種免許状を取得することが可能です。

● 教員採用試験合格者への採用猶予制度

北海道教育委員会及び札幌市教育委員会では、すでに教員採用試験に合格している場合にも、大学院を修了するまで採用を猶予される制度がありますので安心して学べます。

● 関心に合わせた実習校の選択

それぞれの関心に合わせて、教育実践研究実習を行います。学部の実習では授業作りや指導案作成など基本的なことを学びますが、教職大学院では研究テーマに沿って授業を行い、課題を追究します。

柳澤さん

教員採用試験二次対策では、教授や現職の先生方に親身にご指導いただきました。1年目で採用試験に合格できたので、合格者への採用猶予制度のおかげでさらに学びを深めることができました。